

安全・安心な食卓は 健全な飼い方から

アニマルウェルフェア畜産を考える

入場無料
申込不要
入退場自由
気軽にお越し下さい

日時: 2009年3月24日(火)午後1:00-4:30

場所: エル・パーク仙台 セミナーホール1・2

(仙台三越定禅寺通り館・旧141ビル5階)



主催: 東北大学大学院農学研究科
同家畜福祉学(イシイ)寄附講座
同複合生態フィールド教育研究センター
農業と動物福祉の研究会

後援: あいコープみやぎ
(株)イシイ



安全・安心な食卓は健全な飼い方から

食の安全に必要なこと、一緒に考えてみませんか？
「アニマルウェルフェア(家畜福祉)」ってなんだろう？
食の安全とどう関係があるのだろう？

開催主旨

流通段階での食品偽装の問題が相次ぐ昨今、消費者の皆様は食品の生産過程に目を向け始めていることと思います。経済性・効率性を最優先させた現代の畜産の現場では、数年前には牛の口蹄疫やBSE、最近では鳥インフルエンザなどの病気が発生し、家畜の飼い方に疑問を感じているのではないのでしょうか。家畜は食料生産の機械ではなく、命ある生き物です。人間の食料となる命であっても、生きている間は幸せに生きてこそ、家畜は健全になり、畜産は安全・安心な畜産物を生産し、ひいては「人間の幸せ」につながるのではないのでしょうか。

新しい畜産・食生産のあり方を社会全体で、皆様とともに考える機会を持ちたい、という思いでシンポジウムを開催します。

皆様、お誘い合わせの上、ご参集くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

- 1:00～ 開会の挨拶
1:10～1:30 アニマルウェルフェアとは（佐藤衆介：東北大学教授）
1:30～2:00 アニマルウェルフェア畜産としての放牧養豚の評価
（二宮茂：東北大学准教授・鈴木英作：宮城畜試主任研究員）
2:00～2:20 純国産肉用鶏のアニマルウェルフェア飼育の可能性
（小原愛：東北大学助手）
2:20～2:30 休憩
2:30～3:20 アニマルウェルフェアの世界の動向
（Dr. M. Appleby：WSPA（世界動物保護協会））
3:20～3:40 アニマルウェルフェアの日本の動向（佐藤衆介）
3:40～4:10 ディスカッション（竹内正博：株式会社イシイ代表取締役社長、
吉武洋子：あいコープみやぎ理事長、
松木洋一：農業と動物福祉の研究会代表幹事）
4:10～ 閉会の挨拶

* 4:30より交流会（参加費1000円）を予定しております。

参加希望者は講演会受付時にお申し出ください。

純国産肉用鶏と放牧豚の料理を準備しております。

寄附のお願い

東北大学家畜福祉学(イシイ)寄附講座は、家畜福祉を普及させ持続可能な畜産への貢献を目指す株式会社イシイの寄附金により運営されています。シンポジウムを聞かれて、食の安全性改善のために家畜福祉の可能性・必要性を感じ、新しいアニマルウェルフェア畜産の創造に支援して下さる企業、団体、個人の寄附を募集しております。この新しい芽を伸ばすために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。詳細は当日の配布資料に掲載いたします。また寄附を希望される方は当日配布しますアンケートにお名前、ご住所等をご記入頂ければ幸いです。
よろしくお願い申し上げます。

連絡先：東北大学大学院農学研究科家畜福祉学(イシイ)寄附講座

HP：<http://www.agri.tohoku.ac.jp/animal-welfare/Top.html>

E-mail：animal-welfare@bios.tohoku.ac.jp

電話・FAX：0229-84-7382